

YAMAHA

SOLO-

SYNTHESIZER SY-1

シンセサイザー《SY-1》から新たな音への旅立ち。

この度は、ヤマハ・ソロ・シンセサイザーSY-1をお買い求め頂き、ありがとうございました。

このSY-1は、28種のソロ・プリセット音色に巾広いコントロール機能を備えた、画期的なソロ・シンセサイザーユニットです。

これをエレクトーンに接続すれば、一層の表現力と独創性が生まれてきます。脚をつけて、ギターアンプに接続すれば、コンボ・バンドでも大活躍。

さあ、あなただけの個性的なサウンドを求めて、ソロ・シンセサイザーの豊かな音の世界に旅立ちましょう。

YAMAHA SOLO-SYNTHESIZER SY-1

ヤマハ

ソロ・シンセサイザーSY-1《目次》

- 2 SY-1のすべて、シンセサイザー概略
- 4 各部の名称
- 6 SY-1の設置法
- 9 アンサンブルを楽しむための接続法
- 12 プリセット音色・スイッチ
- 14 エフェクトレバー・スイッチ
- 20 保存法
- 21 故障でない現象
- 23 お得なサービス依頼法
- 24 保証とサービスシステム
- 25 用語集
- 26 ヒューズ交換はこのように
- 27 アクセサリー
- 28 仕様

表3 ヤマハ・サービスネット

あらたな音楽の息吹きが甦ります。

●ヤマハ・ソロ・シンセサイザーSY-1

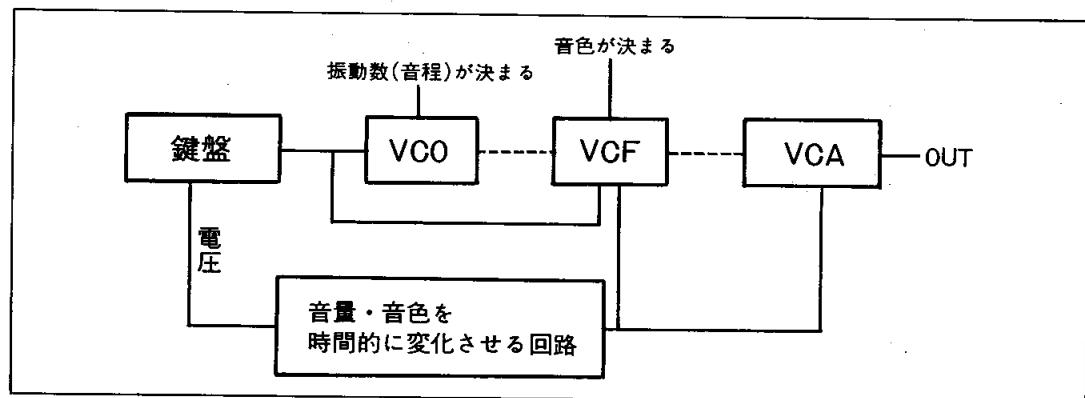
ヤマハは常に“生き生き”と“ゆたかな”サウンド創りを目指しています。このSY-1は、生きた音を持ったプリセット音色、更にそれを自由に変化させることができるコントロール機能など一層広い音楽の世界を切り拓くことができるソロ・シンセサイザー・ユニットです。これを、エレクトーンのアンプに接続すれば、あなたのエレクトーンは、一層の表現力がプラスされることになります。

このSY-1は、シンセサイザーにありがちな操作の複雑さを解消するために、まず素材となる音色はすべてプリセット化しました。そのプリセット音色に対して、音色、音程、音量を自由に変化させ、独創的なサウンドを生み出すシステムが、ヤマハ・ソロ・シンセサイザーの大きな特長です。

●シンセサイザーとは？

シンセサイザーとは、音を作り出す発振器(Oscillator)、音色を決めるフィルター(Filter)、音を增幅するアンプリファイナー(Amplifier)を自由にコントロールするシステムをいいます。このようなシステムから、音色を時間的に変化させること、音の立ち上り、減衰をコントロールすること、音程を自由に変化させられること——ができるようになりました。

私たちが、いつも何気なく耳にしている、トランペットとか、バイオリンといった自然楽器の音は、その音の立ち上り、持続、減衰といった過程では、音色、音程、音量が微妙に変化しています。この時間的な変化がそれぞれの楽器によって異なっていて、楽器の音の性格を形作る大きな役割を果しています。従ってこのシステムによれば、自然楽器に近い生きた音が得られる同時に、「全く新しい楽音」まで自由に創



り出すことができるということになります。

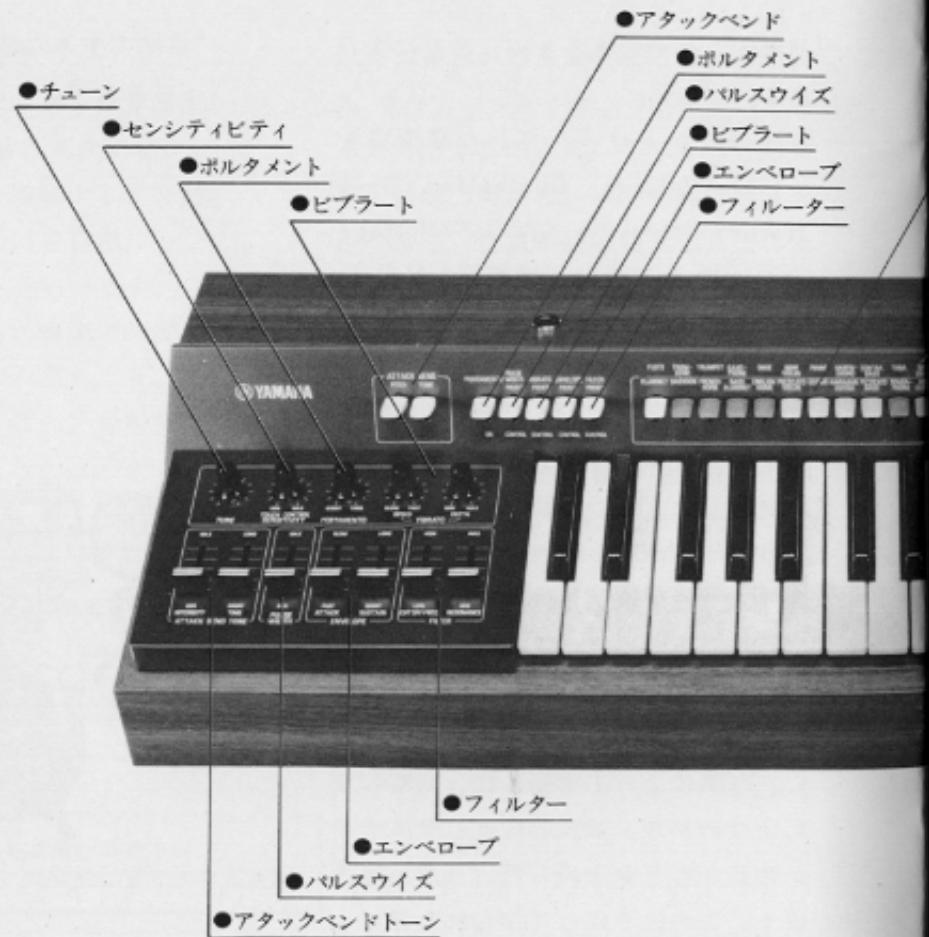
電圧でコントロールされた発振器をVCO (Voltage Controlled Oscillator)、フィルターをV.C.F (Voltage Controlled Filter)、増幅器をVCA (Voltage Controlled Amplifier) と呼び、これらは、図のような関係になります。

例えば、キーを押すと決められた電圧が発生して、VCOに働きかけ音程が決まります。VCOを通った信号はVCFに入り、音色が決定されますが、更に別の回路（エンベロープ・ジェネレーター）からくる信号によって、時間的な音色変化も同時に加えられます。最後に、VCAによって増幅され、同時に立ち上りの早さ、減衰の程度、サステインの長さなどが決められ、音が出てきます。このようにして作られた音は

“自然で生きた感じ”が聴く人の耳に伝ってきます。



使い易さを考えたパネルレイアウト。





●鍵盤

Cスケール37鍵3オクターブですが、トランスポジション、レバーによって、上2オクターブ、下1オクターブづつのばせますので、実際には6オクターブの鍵盤として使えます。

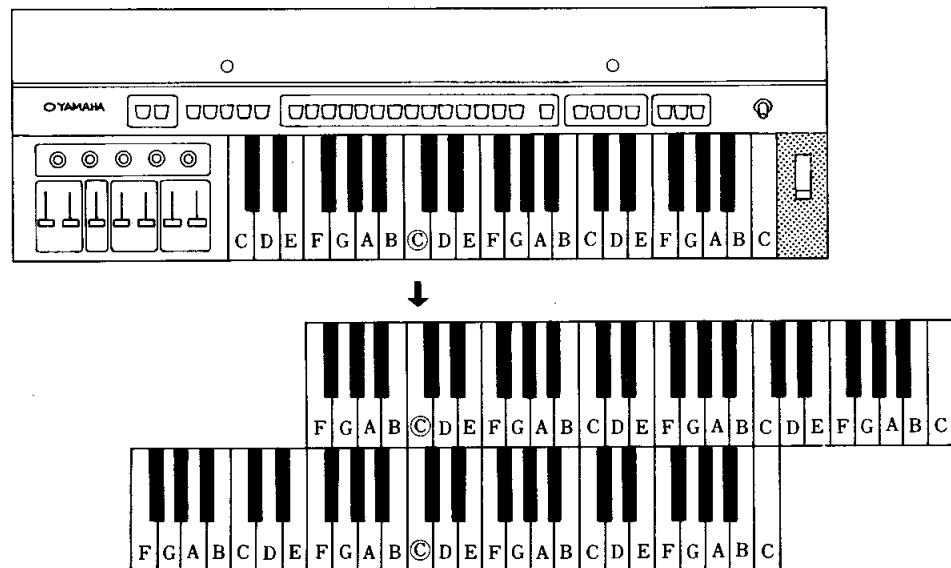
高音優先になっていますので2つ以上のキーを押した場合、キーのうちの一番高い音が出てきます。

SY-Ⅰはあなたの期待にこたえます。

●SY-1をエレクトーンに設置する前

二〇

右図のようにSY-1の④のキーと、エレクトーンの④のキーを合わせるように設置しましょう。より楽しくスムーズな演奏ができます。



●エレクトーンB型への設置方法

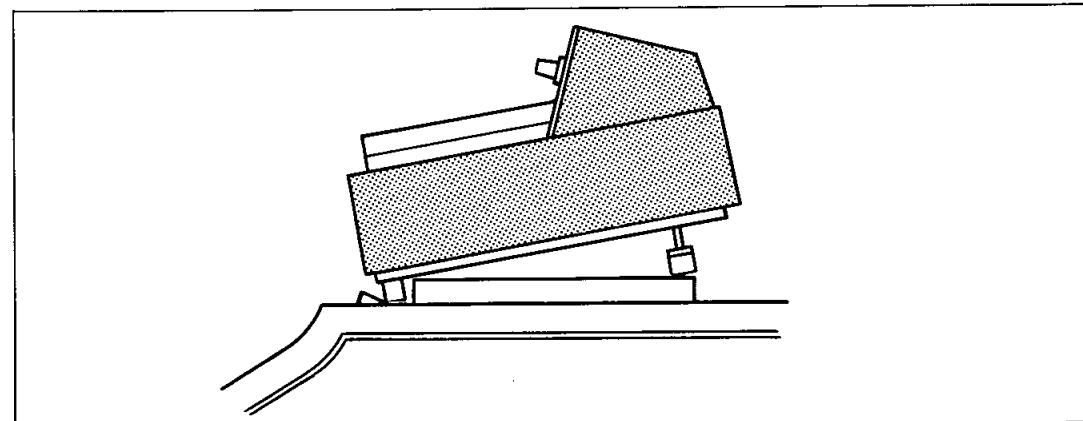
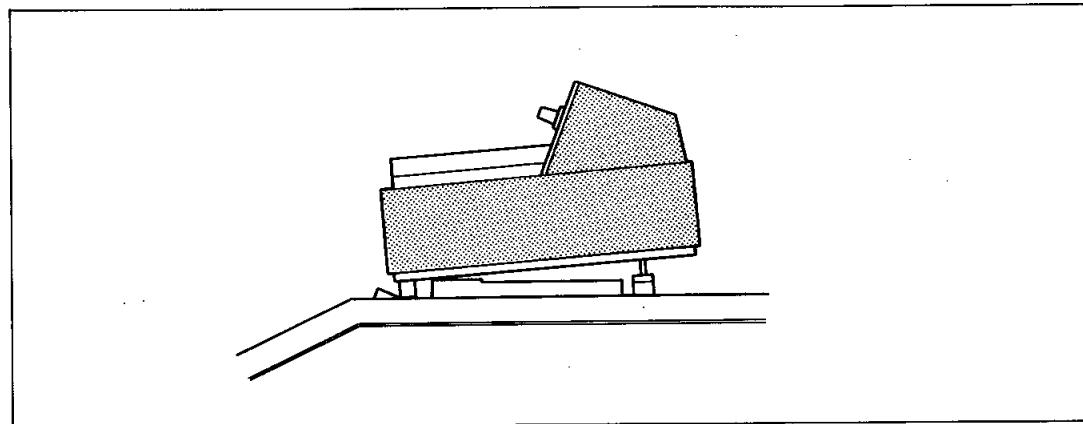
図のようにエレクトーン上部の譜面台を、SY-1の下部にあるトランレッグの前部と後部ではさむようにして置きます。

●エレクトーンC.D型への設置方法

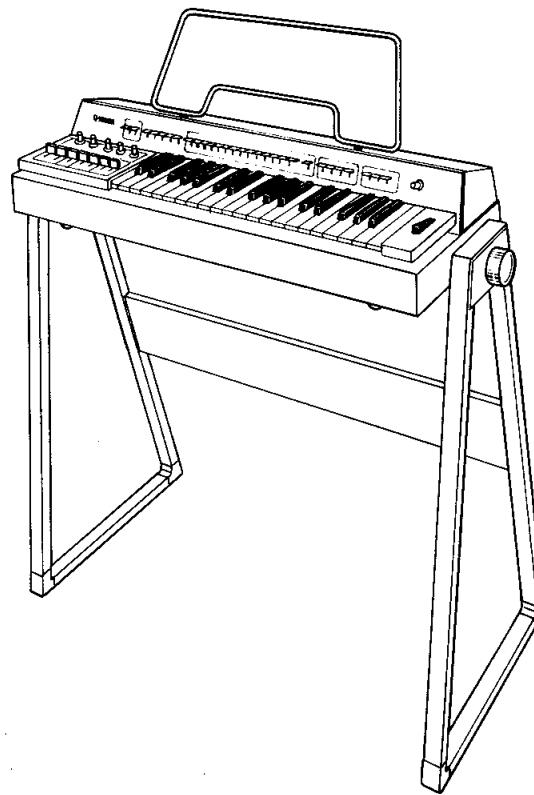
B型と同様の方法で設置してください。

●エレクトーンE型への設置方法

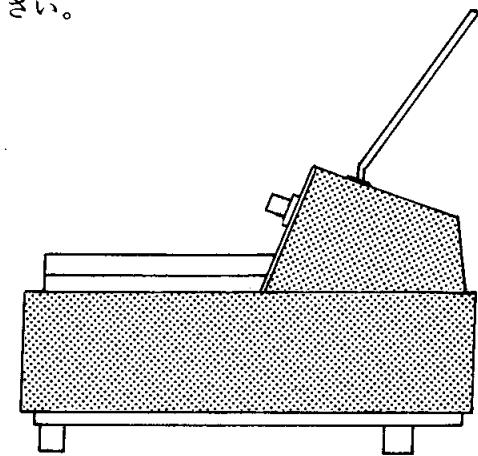
エレクトーン上部に設置するのは、B.C.D型と同様ですが、SY-1の後部右ゴム脚が譜面台の上にのる形になります。SY-1下部のトランレッグは、5cmの可動範囲がありますので、これを調整してください。



(
そのほかにSY-1別売の脚をつけてエ
レクトーンのサイドに設置して楽しむ
方法もあります。



(
※SY-1に付属の譜面台を取り付ける
際、前後を間違わないようにしてください。
さい。



譜面台傾斜のある方が前面になります。

接続方法

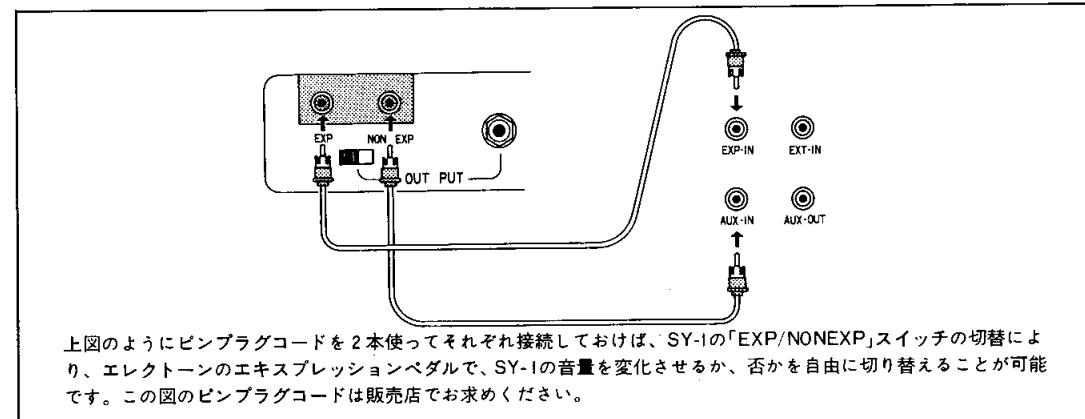
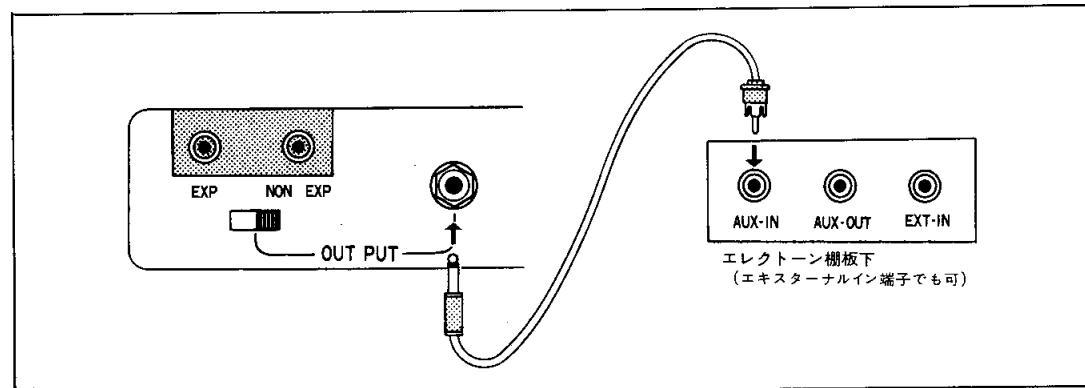
●エレクトーンとの接続法

1 : SY-1 の裏パネルにある出力端子 (NON-EXP) とエレクトーンの棚板下または、裏側にある入出力端子 (AUX-IN または、EXT-IN) を付属のコードにて接続します。

2 : SY-1 の音量をエレクトーンのエキスプレッションペダルで変化させたい場合。

「EXP-IN」の入力端子がエレクトーンの棚板に付加されているエレクトーンでは、SY-1 の出力端子「EXP」とエレクトーンの「EXP-IN」をピンプラグコードで接続します。(「EXP/NON-EXP」スイッチは「EXP」側にセットしてください。)

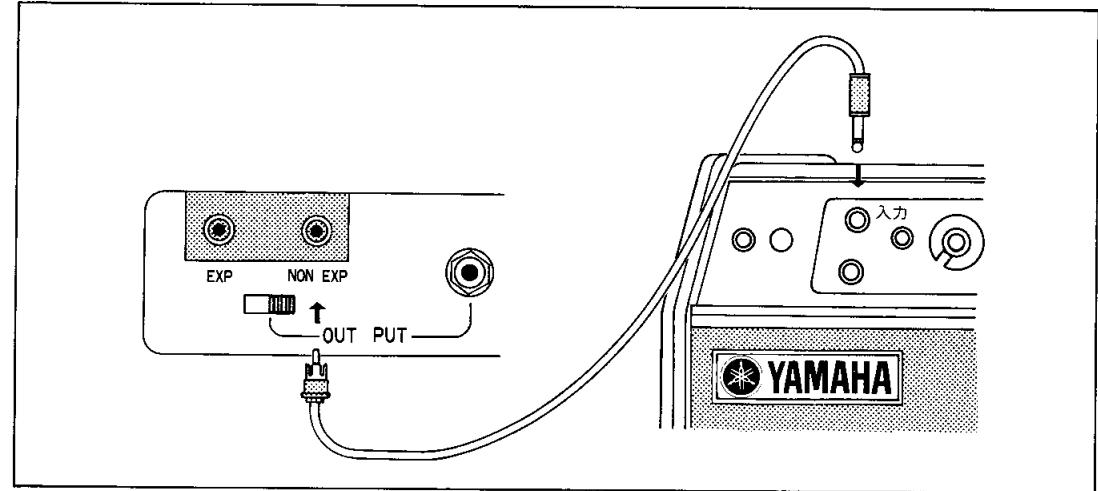
*エレクトーン本体に「EXP-IN」端子のない場合には、お買い上げ店または、日本楽器各支店のエレクトーン技術係(28頁のヤマハサービス網参照)にご連絡いただければ同様の入力端子をお取付致します。



●ギターアンプ等との接続法

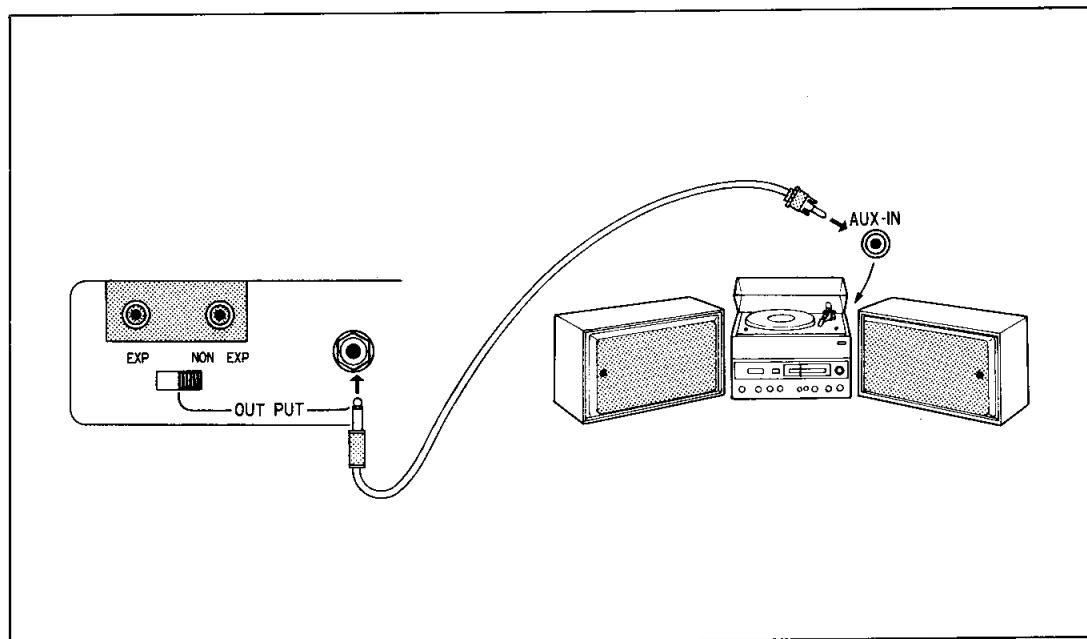
SY-1をギターアンプ等のL.M楽器に接続する場合には、SY-1の出力端子「NON-EXP」とギターアンプの入力端子とを付属のコードで接続してください。

※「EXP/NONEXP」スイッチは、「NON/EXP」側にセットしてください。



●ステレオ装置との接続法

SY-1をステレオと接続する場合には、ステレオアンプ部裏パネルにある外部入力端子「AUX-IN」とSY-1の「NON-EXP」端子を付属のコードで接続し、ステレオパネルのファンクションを「AUX」の位置にセットしてください。



各出力端子の電気的特性

	出力インピーダンス	最高出力レベル
ピンジャック { EXP端子 NONEXP端子	600 Ω	0dBm(775mV)
ヘッドホーンジャック	600 Ω	0dBm(775mV)

生きた楽音を再現するプリセット音色

●プリセット音色・スイッチ

演奏途中に、コントロール部や、タブレット部を操作しながら、音を創り加えることは、大変困難なことです。

SY-1は、この困難さを解消するために、比較的ポピュラーな楽器音24種と、新しい音色4種を加え、プリセット音色として、セットしました。

この楽器音は、ワンタッチでセレクトできます。これらは、右側優先になっていますので、2つ以上の音色レバーを入れても右側の音色しか出ません。

また、1つの音色レバーで2つの音色が選択できるようになっており、SIDE I及びSIDE IIの切替スイッチによりどちらか一方を選んで下さい。

なお、これらのプリセット音色には、右頁でわかるように、既に或るエフェクトがセットされているものがあります。このあらかじめセットされている音程、音色、音量はキャンセルして、他のレバー操作によって、自由にコントロールすることができます。(エフェクトの項参照)



●プリセット音色

トランペット

トランペットにミュートをかけた感じの音です。

グロウベット

トランペットにグロールをかけた音です。

ボウバイオリン

バイオリンを弓で弾いたときの音色です。

ピッチカートバイオリン

バイオリンを指で弾いたときの音色です。

ギター

アコースティックエレキギターの音色です。

ハワイアンギター

スチールギターの音です。

ワウギター

前述のギターに、ワウワウ効果を加えた音です。

ファニー

シンセサイザー独特の音で、時間的に音色の変化した音です。

ダブル

ダブル・リード楽器のアコディオン的な音です。

リード

シンセサイザー的な音です。実際によく聞きあわせてお使いください。

バルサー

シンセサイザー独特の音で、パンチのきいた音色です。

プリセット音色群・付加工エフェクト

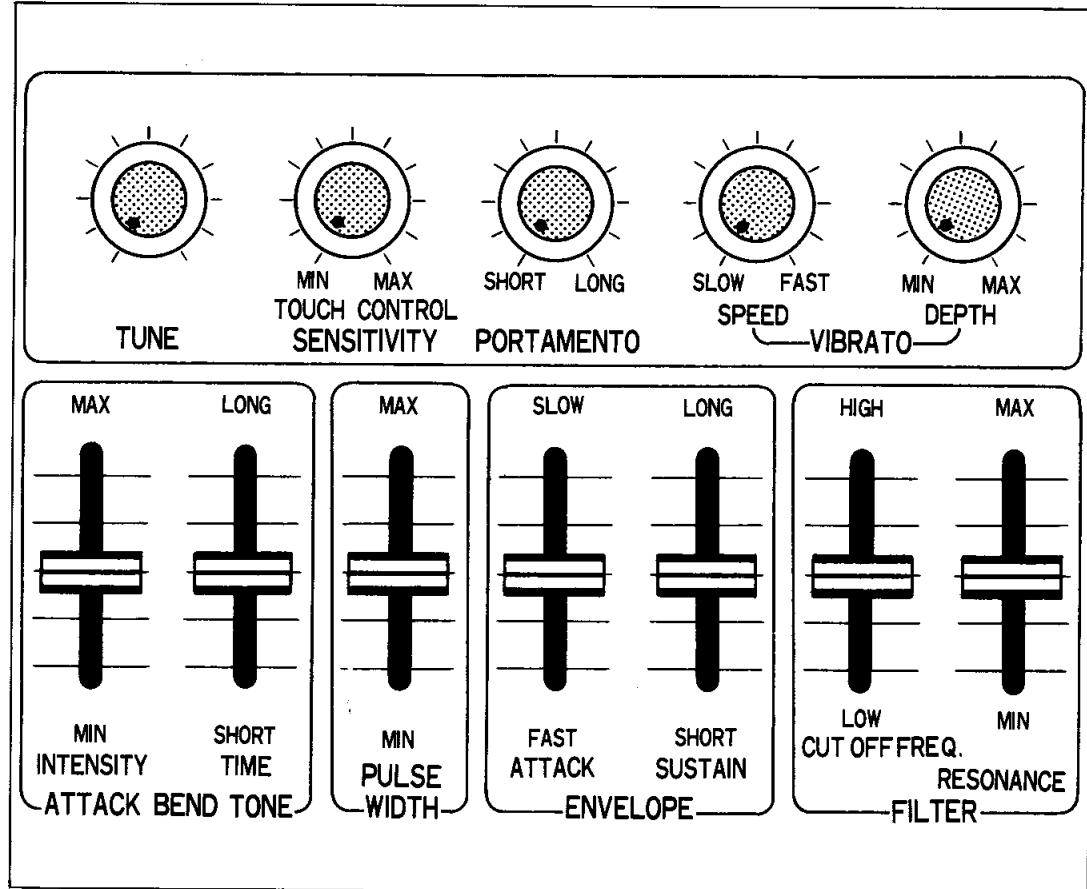
エフェクト トーンレバー	ピブラート ● グロール ● ビート ●	サステイン効果	基本となる音程
SIDE I	フルート	●	8'
	トロンボーン	●	16'
	トランペット	●	8'
	サキソホーン	●	16'
	オーボエ	●	8'
	ボウバイオリン	●	8'
	ピアノ	●	16'
	ハープシコード	●	8'
	コントラバス	●	16'
	チューバ	●	16'
	ベースギター	●	16'
	ファニー	●	16'
	トラミュート	●	16'
	ダブル	●	8'
	クラリネット	●	8'
	バースーン		16'
	フレンチホルン		8'
	バスクラリネット		16'
	イングリッシュホルン	●	8'
	ピッチカートバイオリン		16'
	ギター	●	16'
	ハワイアンギター	●	8'
	ピッチカートベース	●	8'
	スーザホーン	●	16'
	ワウギター	●	16'
	パルサー		16'
	グロウペット	●	16'
	リード	●	8'
SIDE II	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		
	●		

● グロールとは、ピブラートのふるえを極端に早くしたもので。ビートとは、周波数がわずかにちがう 2 つの音が合わさったときに生ずるピブラートのような音の波のことです。

※ ● ● ● 印のあるプリセット音色には、既に効果がプリセットされていることを示します。詳しいことは、エフェクトの項を参照して

ください

音の世界がさらにひろがります。



エフェクトレバー・スイッチ

前述のプリセット音色は、音の三要素である音程、音色、音量を時間的に変化させることによって、自然楽器に近い—より生きた音—を、まったく新しい楽音を再現してくれます。更に次に述べるいろいろなコントロールレバーの操作によって、プリセットされた音の立ち上り、減衰を演奏者好みに応じて、セットしなおしたり、倍音の含まれ方の程度によって、音色を変化させたり、音程を連続的にスライドさせたり……など様々な変化を加えることができます。

フィルター(Filter)

フィルターは、倍音の含まれ方をコントロールして、音色に変化を与えます。プリセットされている各楽音は、音色を決める要素である Cut off Frequency やレゾナンスのかかり具合がす

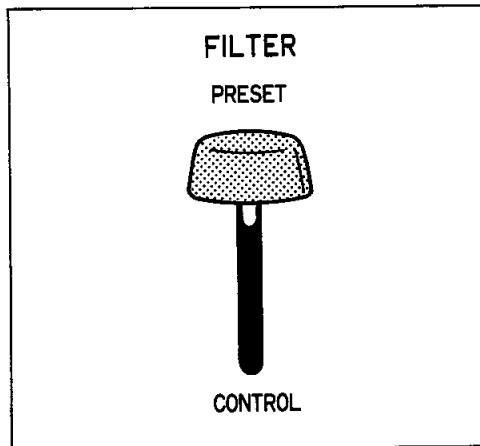
でにその楽音に合うように決められセットされています。プリセット音色を更に変化させたい場合は、次のように行います。

フィルター(Filter)スイッチをコントロール(Control)側にセットします。すると既にプリセット音色にセットされていたCut off Frequencyとレゾナンスがキャンセルされ、それぞれのスライドボリュームを操作することによって、自分の好きな音色に変化させることができます。Cut off Frequency レバーをLOW側にセットすれば、高い倍音はカットされ、明るくあざやかな音色が、暗い沈んだ音色へと変化します。ResonanceレバをMAX側にスライドさせれば、Cut off Frequencyは強調され、よりこもった音色になります。

Resonanceレバーを中心セツトし、Cut off Frequency レバーを前後に繰

り返しスライドさせれば、ワウワウ効果を得ることもできます。

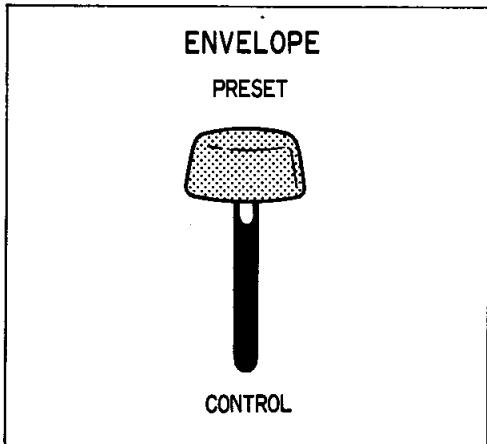
様々に応用して、巾の広い演奏効果の得られるレバーです。



エンベロープ(ENVELOPE)

エンベロープ(ENVELOPE)は、音の立ち上り、減衰をコントロールします。それぞれのプリセット音色は、あらかじめ立ち上り時間、減衰時間がセツトされています。これを変化させたい場合には、ENVELOPE レバーを、コントロール側にします。するとプリセットされていた、音の立ち上り時間、減衰時間がキャンセルされ、自由に音の立ち上り、減衰時間を変化させることができます。音の立ち上りはATTACK レバーで、音に余韻をつけたい場合は、サスティンレバーで各々コントロールします。ATTACK レバーをFAST側一杯に、SUSTAINレバーをSHORT側一杯に、セットすれば、音の立ち上り、減衰が非常に早く、輪郭がはっきりし、叩くようなパンチのきいた音になります。SLOW側にセツトすれば音が遅

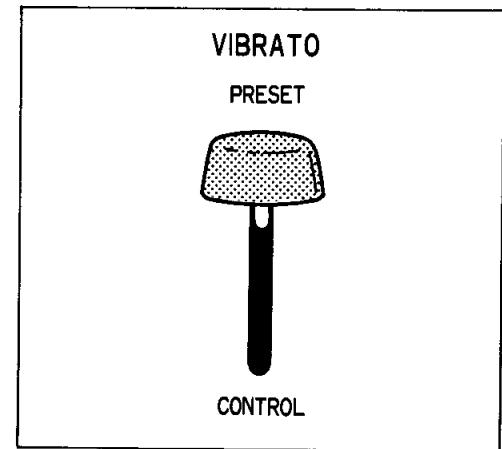
く立ち上り、ソフトでムーディな感じに変化します。



ビブラート(VIBRATO)

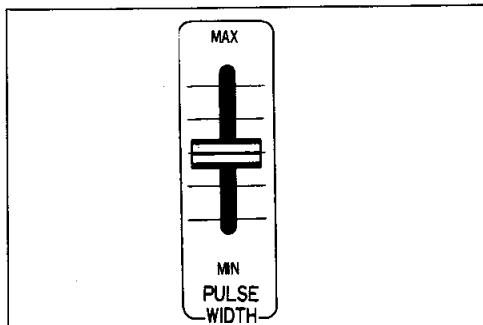
ビブラート(VIBRATO)は、音に震えをつきます。フルート、トランペット、ホウバイオリン、チューバなどの音色には、すでにビブラート(VIBRATO)やグロール(GROWL)が掛っています。グロール

(GROWL)は、ビブラート(VIBRATO)のスピードを速くした状態をいいます。ビブラート(VIBRATO)スイッチを、CONTROL側にすれば、それぞれの音色にかかっていたビブラート(VIBRATO)やグロール(GROWL)は一度キャンセルされ、各々のツマミによって再び好きな度合で、ビブラート(VIBRATO)の速さ、深さがコントロールできます。フニー(FUNNY)やワウギター(WAH GUITAR)のようにワウワウのかかっている音色では、ビブラート(VIBRATO)レバーを CONTROL側にし、VIBRATO SPEEDレバーを動かせばワウワウのスピードも同時に変化します。またVIBRATO DEPTH レバーを最小にセットし、VIBRATO SPEEDレバーを動かすと、ビブラートはからず、ワウワウのスピードのみをコントロールすることができます。



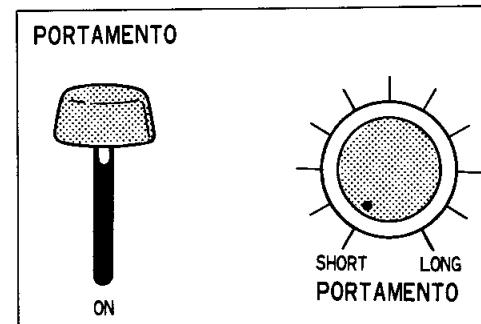
パルス・ウイズ(PULSE WIDTH)

このレバーは、音源の倍音の含まれ方をコントロールし、音色に微妙な変化を与えます。FILTERコントロールとは別の効果が得られます。特に、ピアノ、ベースギター、サキソホーンなどの音色には、効果的です。側えば、PULSE WIDTHレバーをMIN側にすれば、叩くような音が得られ、MAX側にすると、重い莊厳な音への変化が楽しめます。



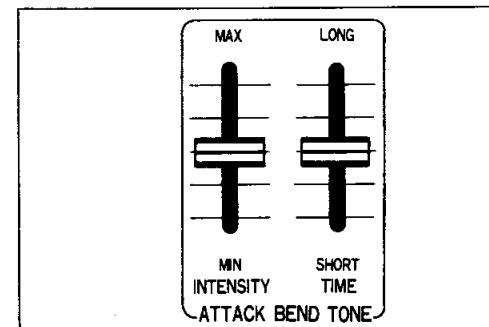
ポルタメント(PORTAMENTO)

ポルタメント(PORTAMENTO)とは、先に押したキーの音から、次のキーの音への連続的に変化する効果をいいます。PORTAMENTOスイッチがOFFの状態では、Cのキーを押し、次にAのキーを押した場合、C音が出て、次にA音が出るだけです。PORTAMENTOレバーをONにしPORTAMENTOツマミをLONG側にセットした場合、Cのキーを押して次にAのキーを押せば、C音からA音までの音程が連続的に変



化します。これはAからCへの音程が上る場合も、下る場合も同様の変化が得られます。この変化する速さはPORTAMENTOツマミによってコントロールできます。

例えば、ギターを弾く場合に、或るキーを弾いて次のキーに移るときに弦を押えた側の指を上下させて出るような効果で、次のキーの音へと流れるようになります。



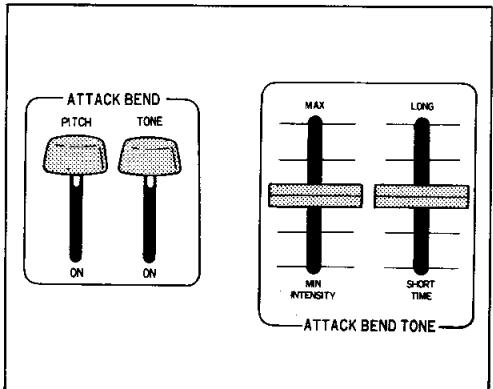
アタック・ベンド(ATTACK BEND)

アタック・ベンドには、音の立ち上

↑
上の時にピッチをコントロールする
PITCH BENDと音色をコントロール
するTONE BENDがあります。

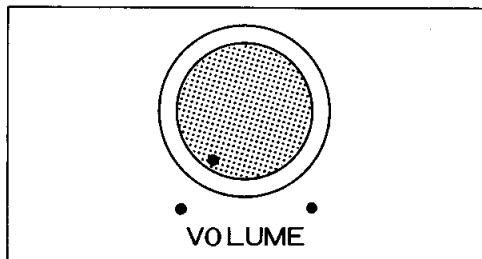
PITCH BENDは、キーを押した瞬間に
ピッチが急激に下がり、序々に正し
いピッチへと戻る効果です。

TONE BENDの場合は、TONEレバー
をONにし、INTENSITY TIMEのレ
バーをスライドさせれば、音色の変化
する幅と復帰する時間とをコントロー
ルできます。



ATTACK BEND TONEレバーのうちTIMEは、押したキー音への復帰時間の長さを変え、INTENSITYレバーは、元の音程へ復帰する間に音色を変化させる度合をコントロールします。
ボリューム(VOLUME)

SY-1全体の音量をコントロールし
ます。エレクトーンと併用する場合に
は、両方の音量のバランスをとります。

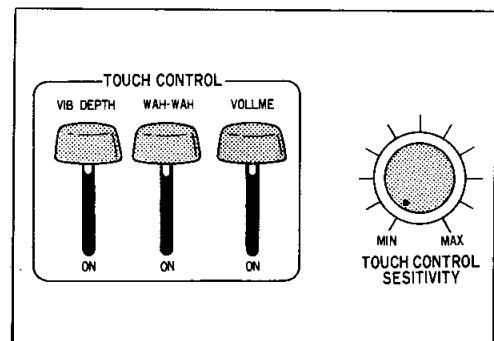


タッチ・コントロール(TOUCH- CONTOROL)

タッチコントロールとは、キーを押す強度によってビブラートの深さを変えたり、ワウワウ効果を加えたり、音

量を変化させるなど弾く指先を通して表現の巾を一層広げることのできる機能です。

VOLUMEツマミの左側に、TOUCH CON-
TOROL用のVIBRATO DEPTH、
WAH-WAH、VOLUMEの3つのレバ
ーがあります。



鍵盤左側のパネルには、効果の最大量
をコントロールするSENSITIVITY
ツマミがあります。VIBRATO DEPTH
レバーをONにした場合、プリセット
されている音色にあるビブラートの深

さがわからないぐらいまで少なくなり、キーを軽く押した場合には、変化しませんがキーを強く押せば深いビブラートがかかります。これらの効果は併用することもできます。

例えば、VIBRATO DEPTHとVOLUMEレバーをONにすれば、キーを押す程度によってビブラートの深さと音量を同時にコントロールすることもできます。このTOUCH CONTROLは、すべての音色に効果があります。

但し、音量などについてはこのレバーを入れると普通のタッチで弾いたのでは元の音量よりもすこし小さく感じます。

TUNE

他の楽器とアンサンブルをする際にこのツマミでチューニングをしてください。

但し、電源スイッチ及びいずれかのレバーをONにしてから暫く後に調整を行ってください。

フットコントロール(FOOT-CONTROL)

これは別売のフットペダルをCONTROLLER JACKに接続し、ペダルによつて、音色、音量をそれぞれ別に、または同時にコントロールするものです。VOLUMEツマミは、音量の最大値をコントロールし、VCFツマミは、音色の変化する幅をコントロールします。VCFツマミをセットし、フットペダルを繰り返し動かせばワウワウ効果を得ることもできます。



生きた音楽は入念なお手入れから。

●保存法

一般的に他の楽器、たとえばピアノとかオルガンと同じ扱いをしていただければ問題はありませんが、電気部品を使用しているため次の点にご注意ください。

A：オールトランジスタ使用のため放熱はありませんが、使用後は電源スイッチを切り忘れないようにしてください。

B：日光の直射する所に置きますと、色があせたり、木材の接着部分がはがれたりする恐れがありますからなるべく避けてください。

C：その他、湿気の多い所、暖房装置の近くは避けてください。

D：鍵盤のお手入れは、中性洗剤を水で薄め、やわらかな布に侵し、よく絞ったものできれいに拭き取ってください。

アルコールやシンナー、ベンジンなどの薬品を使いますと、鍵盤の表面が浸されて見苦しくなりますので、絶対にご使用にならないでください。



このような場合は故障ではありません。

●故障でない現象

下記のような、故障でない現象でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

シンセサイザーの音がでないで、ブーンという雑音のみ出る

シンセサイザーの出力端子と、エレクトーンまたは、ギター・アンプの入力端子を結ぶプラグがしっかり差し込まれていないで接触不良を起している場合があります。

この様なときは、先ず両方の接続端子部をよく確認してください。プラグがしっかり差し込まれていても治らない時には、接続コードを新しいものと取り替えてみてください。

エレクトーンまたは、ステレオに接続した際に音が出ない

シンセサイザー側の出力端子に、

「EXP/NONEXP」切換スイッチが必ず接続されているピンジャック側にセットされているかどうかを確認してください。

スライドボリューム(ATTACK BEND、ENVELOPE、FILTER)の効果がかからない

鍵盤左のパネルにありますボリューム類は、コントロールパネルの「PRESET／CONTROL」セレクターを必ず「CONTROL」側にセットしてから、対応するボリュームを動かさないと（ただし、「TUNE」を除く）、効果はかかりません。

鍵盤を同時に2音押しても1音しか出ない

ヤマハ・ソロ・シンセサイザーは、単音楽器ですので同時に2音以上の音を押しても、高音(高音優先)の方しか出ません。

音色レバーを2つ以上押しても、1音しか出ない

ヤマハ・ソロ・シンセサイザーの音色は、1音のみ選ぶことができ、コントロールパネルの音色レバースイッチ(TRANSPOSITIONも含む)は、右側優先のレバースイッチです。

スイッチを入れた瞬間、ポンと音がする

メインアンプ内部に、電流が流れたためで、シンセサイザー及びアンプが作動する証拠です。安心してお使いください。

アンプからのブーンという電気の雑音(ハム)が気になる

ギター・アンプなどを使用している際、ブーンという電気のうなり雑音(ハム)が気になることがあります。このようなときは、シンセサイザーの電源プラグをコンセントへ逆に差し込んでみて

ください。雑音(ハム)が防止できます。
(アンプによっては、極性切換えの
電源スイッチも付いています。)
音が割れる(共鳴する、あるいはビビル)

シンセサイザーの音が周囲の戸棚、
窓ガラスその他の器物に共鳴することが
多々あります。音量を小さくするか、
または共鳴物を取り除けば防止できま
す。

時々雑音が入る(カリッとか、ボン
という雑音)

原因は家庭の電気冷蔵庫、洗濯機、
電気コタツ、揚水ポンプなどの電気器
具の電源入れ切り時、あるいは市街地
でのネオンサインの故障や電気ドリル
から誘導して起る場合が多くあります。

電気製品が原因の場合は、原因と思
われる機器からできるだけ遠くのコン
セントをお使いください。気にならな
ければ、別にシンセサイザーには何ら

支障はありませんのでそのままお使
いください。またネオン、蛍光灯などの
故障で発生している場合は修理すれば
すぐ直ります。

原因不明の場合及びご不審な点がご
ざいましたら、お求めの楽器店あるいは、
日本楽器各支店のエレクトーン技術
係までご相談ください。

トーンレバーによって、鍵盤位置によ
る音量のバラツキがある

一般に電子楽器では、音色を変える
という本質的な要素を持っため、音色
による各鍵盤の音量バラツキをなくす
ことが非常に難しいわけです。しかし
音の強さや音色は、シンセサイザーの
設置場所の状態や聞く位置などによっ
て大きく異なることがありますので、
どうしても気になるときは、お求めの
楽器店あるいは、日本楽器各支店エレ
クトーン技術係までご相談ください。

ラジオやテレビなどの電波が入ること
がある

近くに大電力の放送局や、アマチュ
アの無線局がある場合にこのようなこ
とが起きます。どうしても気になる場
合には、お求めの楽器店あるいは、日
本楽器各支店のエレクトーン技術係ま
でご相談ください。

パワースイッチを入れた直後は音程が
不安定になる。

シンセサイザーのピッチは、電源ス
イッチ投入後何れかのプリセットレバ
ーをONして暫くしてからお使い下さ
い。

このようなサービスの依頼がお得です。

●お得なサービス依頼法

SY-1は微妙な楽器です。ときには調整の必要な場合も生じます。特にツユ時、ツユ明けの頃が、注意の必要な時期です。万一故障の生じた場合には、お買い上げの楽器店あるいは、日本楽器各支店の技術係までご一報ください。直ちに調整して、楽しく音楽が、奏でらるようになります。このようなとき安心してサービスを依頼し、早く確実に調整してもらう方法を知っておくとお得で便利です。ぜひこの項をお読み頂いて末永くSY-1を最良の状態でお楽しみください。

●サービスをご依頼いただく前に

製品をご持参いただく前には、今一度原因を確認してください。

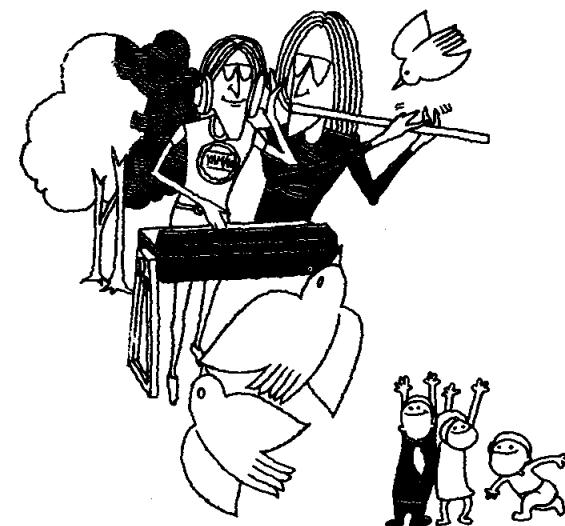
- 必ずコンセントに電気がきいているかどうか、電気製品を接続してお確かください。

- この取扱説明書の21~頁にございます「このような場合は故障ではありません」の項をもう一度ご覧ください。
- ご持参いただけないで、技術者が、お宅にお伺いした場合、故障でないような場合にも出張経費、点検代を頂戴させていただきます。

●お名前、お住いはハッキリと

- ご訪問サービスをご依頼くださる時、お名前、お住所をハッキリとお知らせください。特に、アパートおよびほかの人と同居なさっている方は、アパートの名前や○○方などの方書きまで詳しくお教えください。またお訪ねする際の目標物もあわせてお知らせ願えれば、技術者が早くお伺いすることができます。
- ご訪問サービスをご依頼くださるとき、お店からお客様にご連絡をさしあげることもございますので“連絡

方法”もお知らせください。たとえば、電話番号(呼出含む)、お勤め先の電話番号などです。これは、SY-1の様子について、いま少しお聞きしたい時や、万一突発事故によりお約束の変更をしなければならない時など、お客様にご迷惑をおかけしないでります。



保証とサービスシステムは万全。

保証とサービス・システム

●保証

この製品の保証は、保証書によりご購入より満1カ年です。
ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

製品をお渡しする際に販売店の担当者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客様にお渡し申しあげます。
保証書をお受取りの時は、お客様のご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。
無記名の場合は無効になります。くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切に

保証書は弊社が製品をご購入いただいたお客様に、ご購入の日から向う1カ年は無償サービスをお約束申しあげ

るものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。

●アフターサービス

1：保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い上げいただきました楽器店、またはお近くの日本楽器各支店（表3のヤマハのサービスネットの項参照）に、ご持参いただければ直ちに調整修理致します。尚、ご持参いただけない場合には、ご一報いただければ、技術者が、調整修理にお伺いいたします。

2：調整いたしました時には、必ず保証書をご提示ください。ご提示のない場合、あるいは紛失なされた場合には保証期間中でも有料になります。

3：この保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていた

だきます。お預りした保証書は弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客様にご返送申しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださいようお願い申しあげます。

4：お買上げ楽器店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ楽器店あるいは弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

●保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間が切れますとサービスは有料となります、いつまでも責任をもってサービスをさせていただきます。保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら移転先の楽器店をご紹介いたします。

これだけはおぼえておきましょう。

●シンセサイザー用語集

VCO：電圧制御発振器（Voltage controlled Oscillator）の略。シンセサイザーの音源です。音程をコントロールします。

VCF：電圧制御フィルター（Voltage Controlled Filter）の略。音色をコントロールします。

VCA：電圧制御増幅器（Voltage Controlled Amplifier）の略。音量をコントロールします。

A：アタックタイム（ATTACK TIME）の略。キーを押した瞬間から、最高レベルに達するまでの時間。

ファースト・ディケイ・タイム：キーを押して持続している間に減衰する時間。

セカンド・ディケイ・タイム：キーを離してから減衰する時間。

サステイン・レベル：キーを押している間に持続している音量。

フィルター：FILTERは、倍音の含まれ方をコントロールして、音色に変化を与える働きをします。

カット・オフ・フレケンシー：CUT OFF FREQUENCYはフィルターによって、どの辺の周波数までカットするかを決める機能です。これによって或る音の倍音の含まれ方が変わり、音色が変化します。

レゾナンス：RESONANCEは、「共振」のことです。カット・オフ・フレケンシーでカットした部分の周波数を共振させることによって強調します。これによって、すこしつぶされたような濁った音色効果が得られます。

トランスポジション：TRANSPOSITIONは、全体のピッチをオクターブ単位で、上げたり、下げたりする働きのことです。これを使うことによって、音域の拡がるのはもちろん、音色的にも少し違ったフィーリングが得られます。

エンベロープ：ENVELOPEは、音の立ち上り、減衰などの音量的な、時間的変化のことです。

グロール：GROWLは、ビブラートのスピードを速くしたような効果をいいます。

パルス・ウイズ：PULSE WIDTHは、音源波形を部分的に修正することによって、倍音の含まれ方を変え、音色に変化を与えます。

ポルタメント：PORTAMENTOは、先に押したキーから、次のキーへの連続的に音程が、変化する効果です。

ピッチ・ベンド：PITCH BENDは、キーを押した瞬間にピッチが急に下り、序々に正しいピッチに戻る効果です。

トーン・ベンド：TONE BENDは、キーを押した瞬間に音色が変化し、序々にそのプリセットされた音色に戻る効果です。

タッチ・コントロール：TOUCH CONTROLとは、キーを押す強さによって、ビブラート、ワウワウの変化の度合を調整したり、音量を変化させるなど、弾く指先によって表現できる効果です。

万一ヒューズの切れたときには。

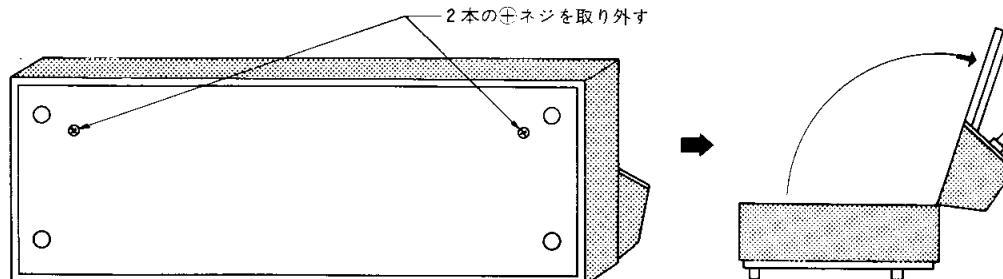
ヒューズ交換はこのように

通常の場合、ヒューズの切れることはありますかが、内部の故障や電源の異常ショック、また長い間使用してヒューズが弱ってきた場合などに切れることがあります。

万一切れた場合には、底板の \oplus ネジ2本を取り、鍵盤及びパネルを開けますと内部メインアンプ部分の手前

底板にサービスヒューズが用意してありますのでお取換えいただくことができます。

ヒューズを交換してもすぐ切れるようでしたら内部が故障していると考えられますので、アンプの内部には手を触れず、お求めの楽器店にご通知ください。エレクトーン技術者が調整いたします。

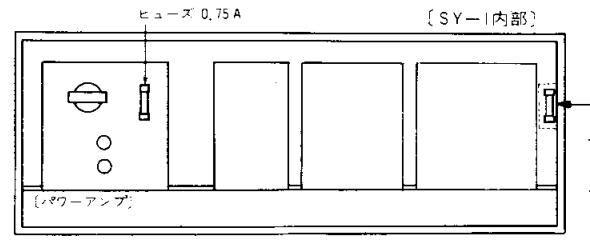


ヒューズ交換の際のご注意

ヒューズ交換には必ず同じ電流容量のものを用いてください。

ヒューズを使わず、針金や銅線などの代用は絶対になさらないでください。万一使用しますと内部を損傷しますので、くれぐれもご注意ください。

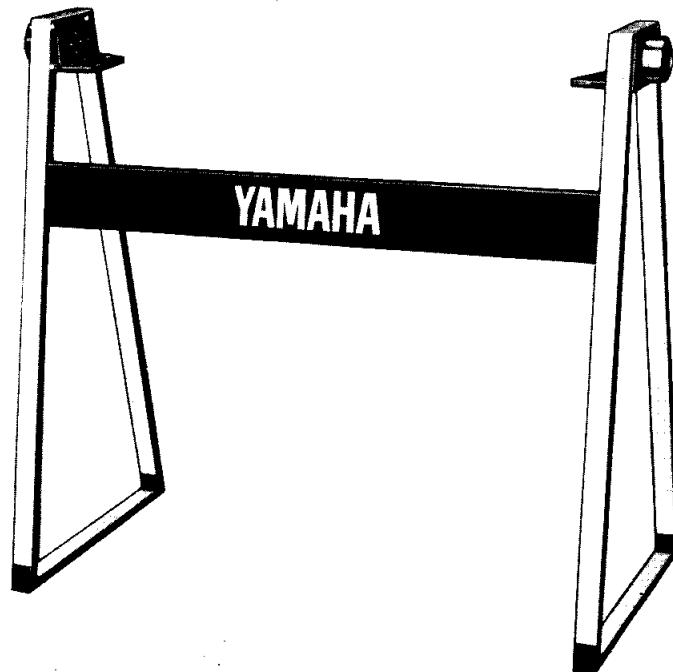
*ヒューズ交換の際には必ず電源コンセントを抜いてから行ってください。



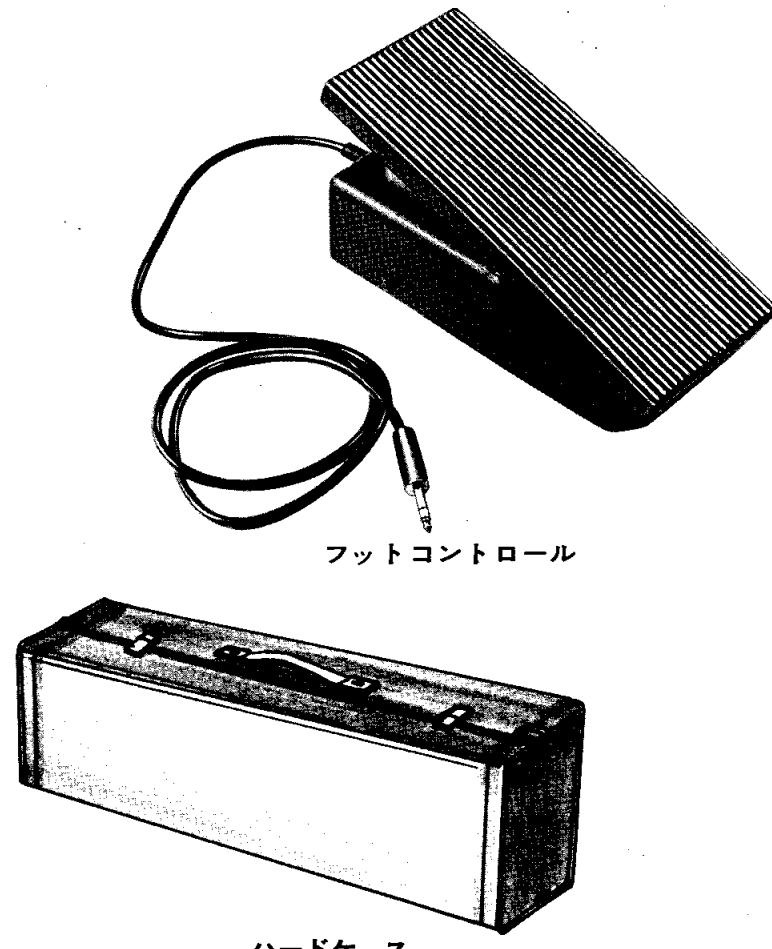
SY-1 のアクセサリー

SY-1 の付属品としてスタンド、フットコントロール、
ハードケースを楽器店にて販売しております。

SY-1 さらに巾ひろいものとするためにご使用ください。



SY-1 専用スタンド(ビニールケース付)



フットコントロール

ハードケース

ヤマハ・ソロ-シンセサイザースY-1の仕様

鍵盤 Cスケール37鍵 3オクターブ
(C₂~C₅)

プリセット音色()内は、SIDE IIの場合

フルート(クラリネット)、トロンボン(バスーン)、トランペット(フレンチホルン)、サキソホーン(バスクラリネット)、オーボエ(イングリッシュホルン)、ポウバイオリン(ピッチカートバイオリン)、ピアノ(ギター)、ハープシコード(ハワイアンギター)、コントラバス(ピッチカートベース)、チューバ(スザホーン)、ベースギター(ウォギター)、ファニー(バルサー)、トランьюート(グロウペット)、ダブル(リード)

エフェクトレバー、スイッチ

アタックペンド (ピッチトーン)

ポルタメント

パルスワイズ

ビブラート

エンベロープ

フィルター

トランスポジション (4段階)

タッチコントロール (ビブラートデプス
ワウワウ
ボリューム)

エフェクトコントロール

チューン

タッチコントロールセンシティビティ

ポルタメント

ビブラート (スピード
デプス)

アタックペンドトーン (インテンシティ
タイム)

パルスワイズ

エンベロープ (アタック
サスティン)

フィルター (カットオフフレケンシー
レゾナンス)

フットコントロール (ボリューム
VCF)

その他

ボリューム

サイド I・II 切換スイッチ

コントロールジャック

アウトプットピン (アウトプットEXPジャック
ジャック (NONEXP、ジャック)

ホーンジャック

EXP/NONEXP切換スイッチ

パワースイッチ、パイロットランプ

電源コード

トランジスター

54本

ダイオード

424本

IC

20個

モジュール

5個

消費電力

20W

外装 仕上げ

ジアレルフタレート

アメリカンウォルナット

間口 780mm

奥行 280mm

高さ 165mm

重量 12kg

付属品

譜面台

ビニールカバー

接続コード

